

## 引用文献

- 穴尾百合. (2009). 新卒看護師に対する医療安全研修. *看護展望*, 34(5), 22-26
- 東真理, 福田理沙, 徳光明子, 赤澤千春, 鈴木麻揚, 川上智子…笹山哲. (2010). 医療安全教育用模擬事例体験ソフトの開発に向けて—ヒヤリハット・インシデント事例の分析—. *健康科学:京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻紀要*, 6, 49-51
- Cynthia Ann Blum, Dax Andrew Parcels. (2012). Relationship Between High-Fidelity Simulation and Patient Safety in Prelicensure Nursing Education: A Comprehensive Review. *Journal of Nursing Education*, 51(8), 429-435
- Edgar Dale. (1946). *Audio-Visual Methods in Teaching*. (pp.24-52). NY: The Dryden Press
- 濱口哲也. (2013). インシデント・アクシデントから学ぶ! 「医療版失敗学」のはじめ方～病院における導入事例とその効果～「医療版失敗学」のエッセンス インシデントから学び、真の医療安全にトライする. *看護展望*, 38 (11), 964-980
- 橋本廸生. (2007). これからの医療安全教育—リスク感性を高める必要性 安全な組織を支えるリスク感性. *看護展望*, 32 (2), 6-16
- 林千加子, 鈴木千絵子, 山本奈奈, 横手芳恵. (2010). 医療事故当事者(看護職者)の安全学習尺度の開発. *医療の質・安全学会誌*, 5(3), 201-212
- 平野智子, 田口喜子, 藤戸邦子, 北野幸代, 松本尚子, 葦浦幸恵. (2010). 新人看護師における安全行動阻害要因の分析. *国立病院機構熊本医療センター医学雑誌*, 10, 11-17
- 井部俊子. (2005). 医療安全確保のための看護人員体制とアウトカム指標の検証. 平成17年度厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業.
- IOM(Institute of Medicine). (2000). 人は誰でも間違える—より安全な医療システムを目指して. 医学ジャーナリスト協会訳 (2000). 日本評論社.
- 石川紀子, 今泉亜希子. (2009). 看護師の与薬事故に関する文献レビュー. *小児看護*, 32(4), 473-480

- 石塚京子. (2010). 新人看護師への医療安全に関する教育. *看護実践の科学*, 35 (13), 22-26
- 糸嶺一郎. (2013). 新卒看護師のリアリティショックに関する研究の動向と課題-過去 20 年の文献から. *茨城県立医療大学紀要*, 18, 1-13
- 伊藤寿満子, 牧野浩子, 丸山ひさみ. (2006). 新卒看護師の基本的看護技術の継時的習得推移とインシデントレポート報告件数との関係—2 年間の追跡調査結果より現認教育を考える—. *日本看護学会論文集：看護管理*, 37 号, 157-159
- 岩本郁子, 和賀徳子, 林幸子, 坪倉繁美, 衣川さえ子, 内村美子…丸山美知子. (2003). 看護・医療における事故防止のための教育方法の開発に関する研究—看護・医療事故のシミュレーションモデルの開発とそのシミュレーション体験による学びの構造—. *看護展望*, 28(2), 101-130
- James Reason. (1997/1999). 塩見弘 (監訳), 組織事故：起こるべくして起こる事故からの脱出. 日科技連出版社
- 加藤栄子, 平松庸一, 尾崎フサ子. (2013). 就職 6 か月時における新人看護職者のバーンアウトの実態と看護療法による効果. *群馬県立県民健康科学大学紀要*, 8, 9-21
- 川村治子. (2003). ヒヤリ・ハット 11,000 事例によるエラーマップ完全本. 医学書院
- 川西良子, 森山恵子, 尾崎幸子, 川村富沙江, 河野奈美子, 柴崎さと子…村上厚子. (2002). 新卒看護師の与薬に関する知識・技術の習得状況—医療事故防止からみた就職 3 か月後の実態—. *日本看護学会集：看護管理*, 33 号, 119-121
- 木村眞子. (2007). いま求められる医療安全教育—教育のあり方・方法はどうか—. *看護展望*, 32 (2), 11-16
- 公益団法人日本医療機能評価機構.(2014). 医療事故情報収集等事業平成 25 年年報.  
[http://www.med-safe.jp/pdf/year\\_report\\_2013.pdf](http://www.med-safe.jp/pdf/year_report_2013.pdf)
- 小松原明哲. (2003). ヒューマンエラー. 丸善株式会社
- 近藤美月. (2002). 新人看護師のリアリティショックに関する縦断的研究—リアリティショックに陥る時期と要因の関連性について—. *日本看護学会論文集：看護管理*, 33, 257-259
- 厚生労働省. (2007). 医療法改正の概要.  
<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/11/dl/s1105-2b.pdf>

厚生労働省. (2011). 新人看護職員研修ガイドライン.

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r985200000128o8-att/2r985200000128vp.pdf>

丸岡直子, 寺井梨恵子, 木村久恵. (2013). 転倒防止に関する新人看護師教育の実態. *石川看護雑誌*, 10, 25-35

Martha Scheckel. (2012/2014). Chap.10 カリキュラムの目標に到達する ための学習体験の選択, 山本佳代子訳, Diane M. Billings Eds.. *看護を教授すること：大学教員のためのガイドブック*原著第4版. 奥宮暁子監訳. (pp153). 医歯薬出版.

丸山美知子. (2003). 厚生労働省看護研修研究センターにおける看護・医療事故防止に関する看護基礎教育研究および看護教員研修への取り組み. *看護展望*, 28(2), 98-100

松谷美和子, 佐居由美, 奥裕美, 堀成美, 高屋尚子, 三浦友里子. (2012). 看護系大学新卒看護師が必要としている臨床看護実践能力—1年目看護師への面接調査の分析—. *聖路加看護学会誌*, 16 (1), 9-19

Mica R. Endsley. (2000). Theoretical Underpinnings of Situation Awareness: A Critical Review. *Situation Awareness Analysis and Measurement*, 1-32. Lawrence Erlbaum Associates.

南恵, 山口千尋, 谷口孝江. (2011). 新人看護師の注視行動およびリスク知覚に関する分析. *市立堺病院医学雑誌*, 14 巻, 57-62

南須原康行, 佐久嶋研, 奥原芳子, 渋谷かをり, 伊藤陽一, 石川誠, 宝金清博. (2013). 7対1看護導入がインシデント報告件数に与えた影響について—新人看護職数の増加に着目して—. *日本医療マネジメント学会雑誌*, 14(1), 25-30

森真由美, 亀岡智美, 定廣和香子, 舟島なをみ. (2004). 新人看護師行動の概念化, *看護教育学研究*, 13 (1), 51-64

中三川厚子. (2006). 看護師の個人特性と Error の関係について. *21世紀社会デザイン研究紀要*, 5, 89-99.

[http://www.rikkyo.ne.jp/web/z3000268/journalsd/no5/no5\\_thesis10.pdf](http://www.rikkyo.ne.jp/web/z3000268/journalsd/no5/no5_thesis10.pdf)

日本看護協会. (2004). 新卒看護職員の早期離職等実態調査.

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2006/03/dl/s0329-13b-5-3.pdf>

日本看護協会. (2010). 2009年看護職員実態調査結果速報.

[http://www.nurse.or.jp/up\\_pdf/20120704124559\\_f.pdf](http://www.nurse.or.jp/up_pdf/20120704124559_f.pdf)

- 西田朋子. (2006). 就職3ヵ月目の看護師が体験する困難と必要とする支援. *日本赤十字看護大学紀要*, 20, 21-31
- 西村節子. (2007). 新人教育における医療安全教育について—3ヵ月間の新人看護師研修制度への取り組みと効果—. *鳥取赤十字医誌*, 16, 67-71
- 新田一美. (2009). 明確な基準設定から始まる医療安全マネジメント—新卒看護師の医療安全管理体制の実践. *看護展望*, 34(5), 15-21
- 大堀昇. (2012). 新卒看護師が関わった医療事故、およびヒヤリ・ハットの発生要因—公表データの二次分析より—. *埼玉医科大学看護学科紀要*, 6(1), 25-33
- Patricia Benner. (2001). ベナー看護論 新訳版 初心者から達人へ. 井部俊子監訳. (2005). 医学書院.
- Patricia Benner, Christine Tanner, Catherine Chesla. (2009). ベナー看護実践における専門性 達人になるための思考と行動. 早野 ZITO 真佐子訳. (2015). 医学書院.
- Patricia Benner, Patricia Hooper Kyriakidis, Daphne Stannard. (2011). ベナー看護ケアの臨床知 行動しつつ考えること 第2版. 井上智子監訳. (2012). 医学書院.
- 斉藤奈緒美, 石川雅彦. (2014a). “医療安全力”を育むリスクアセスメントトレーニング 医療安全“ウォーリー”を探せ!. *看護教育*, 55(4), 300-305
- 斉藤奈緒美, 石川雅彦. (2014b). “医療安全力”を育むリスクアセスメントトレーニング “リスクアセスメント・クエスチョンリスト”の活用. *看護教育*, 55(8), 888-893
- 斉藤奈緒美, 石川雅彦. (2014c). “医療安全力”を育むリスクアセスメントトレーニング 未然防止の視点から何をどこまで教育するか?. *看護教育*, 55(9), 888-893
- 坂本すが. (2004). 厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価研究事業 医療機関における安全管理体制の構築状況の実況の実態調査および普及に関する研究. *15年度総括・分担研究報告書*
- 坂本すが. (2007). 臨地実習をどう見直し、組み立てるか カリキュラム改正の意図を踏まえて. *看護展望*, 32(7), 668-671
- 佐居由美, 松谷美和子, 平林優子, 松崎直子, 村上好恵, 桃井雅子…井部俊子. (2007). 新卒看護師のリアリティショックに構造と教育プログラムのあり方. *聖路加看護学会誌*, 11 (1), 100-108
- 佐々木幾美. (2013). 地域医療基盤開発推進事業 新人看護職員研修制度開始後の評価に関する研究. *平成24年度総括研究報告書*.  
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/0000077516.pdf>
- 嶋森好子. (2000). 医療事故防止対策の検討 看護業務に関連する医療事故の実態調査から医療事故防止策を検討する. 平成12年度厚生科学研究費補助金 (厚生科学特別研究事業)
- 玉利英子, 藤井菜穂樹. (2009). 新卒看護師の特性を考慮した医療安全教育—効果を上げ

る研修方法と内容. *看護展望*, 34(5), 35-41

寺井梨恵子, 丸岡直子, 田圃久美子, 小林宏光, 林静子. (2015). 転倒リスク場面における看護師の視覚情報に基づくアセスメント. *医療の質・安全学会誌*, 10 (1), 3-10

内野恵子, 島田涼子. (2015). 本邦における新人看護師の離職についての文献研究. *心身健康科学*, 11(1), 18-23

山崎英樹, 乗越勇美, 内山隆久. (2006). 医療事故のリスクマネジメント(pp36). ぱる出版

山崎律子. (2009). 静脈注射技術の習得にみる医療安全教育の実際. *看護展望*, 34(5), 27-34

吉田みつこ, 川原由佳里, 佐々木幾美, 本庄恵子, 田中孝美, 奥田清子…川島みどり. (2008). 新卒看護師のヒヤリ・ハット／アクシデント体験と周囲の対応. *日本赤十字看護学会誌*, 8(1), 20-27